



## ペルー

## BOP層家庭訪問調査レポート

- 調査実施日: 2013年7月
- 調査場所: リマ市コマス区コジケ地区
- 調査対象: アルベルト(仮名)さんの一家
- 換算レート 1米ドル≒2.8ソル(ヌエボ・ソル 2013年7月末)



## アルベルトさん一家



## 家族構成

夫: アルベルト(仮名)さん(52歳)  
妻: (53歳)  
長男: (12歳)

## 世帯収入

月額1,400~1,600ソル

## 職業

左官工

## 休日

週休1日(日曜日)

## 出身地

リマ市

## アルベルトさん (52歳)

職業 左官工  
月収 1,200~1,400ソル

## 趣味は?

テレビでサッカー観戦

## よく使う交通手段は?

乗合ワゴン、乗合バス、  
BRT(バス高速輸送システム)

## 休暇の過ごし方は?

近所を散歩

## 今欲しいものは?

屋上に水タンクと配管の設置を完了し、温水シャワーを常時浴びられるようにしたい

## 買い物スポットは?

食料品は伝統市場、衣料品や家電は伝統市場の中古品店で



## 妻 (53歳)

職業 主婦、パートで教会門番  
月収 200ソル(パート週3日)、  
現在は病気療養のため休職中

## 買い物スポットは?

食料品は伝統市場またはハイパーマーケット、衣料品はショッピングモール、化粧品は分割払いができる訪問販売を利用

## 通勤交通手段は?

三輪モトタクシー、  
乗合ワゴン、乗合バス

## 休暇の過ごし方は?

近所に住む親族や友人宅を訪問

## 今欲しいものは?

居間の内装を完成させたい。  
夫は帰宅が遅くなることが多いので、温めなおしに便利な電子レンジも欲しい

## 趣味は?

趣味ではないが、門番をしている福音教会の活動を通じて交友の輪が広がり楽しい。



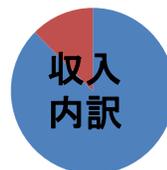
## 職業紹介

左官工として30年のベテランで現場を仕切れる棟梁格。フリーだが、工場のメンテナンスや住宅補修などを依頼する製造業や住宅管理会社など複数の顧客を持っている。

現場は市の新市街が多く自宅から現場までの往復1日6ソル前後の交通費は顧客持ちが望ましいと考えている。

昼食は安い食堂の定食(5~7ソル)。経費の一部と考えている。休日には自宅の改装・増築に汗を流す働き者。病み上がりの妻を気遣う優しさも兼ね備えている。

## 収支内訳



■ 夫収入  
■ 妻収入



■ 水光熱費  
■ 教育費  
■ 食料費  
■ 交通・通信費  
■ 日用雑貨・被服  
■ 保健医療費  
■ その他



# 住居 所有地に2階建ての2世帯住宅 資金を貯めながら増改築



アルベルトさんは父から相続した土地に2階建ての二世帯住宅を建て、1階部分に母、2階部分に一家が暮らしている。階段を上がってすぐの居間、これに隣接する台所、寝室に直結するトイレ・シャワールームを現在工事中(写真)。家族3人の寝室のほか3室あり、うち2室は1階に暮らす母親の収入源として賃貸している。もう1室は臨時で台所として使用している。

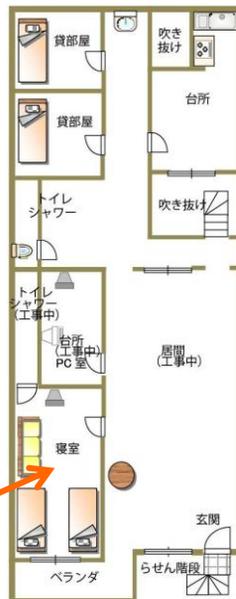
居間の基礎工事は4,500ソルを投入。2週間の突貫工事。現在は妻、息子が相次いで大病を患い、医療費に予定外の出費が重なったため1年以上工事が中断している。年内に工事を再開するのが目標。

所有の有無	有(父から相続)	テレビ	中古3台所有、いずれもサムスン、うち1台はPCのモニターに使用
間取り	居間(40㎡)、寝室(18㎡)	冷蔵庫	中古所有、国産メーカー
広さ	160㎡	固定電話	なし
築年数	10年	携帯電話	夫婦各1台 中古保有 NOKIA
電力	月額約40ソル、電柱引込み、給電事情はここ15年で大幅に改善。事前予告がある場合を除き突発的な停電はなくなった。	パソコン	デスクトップ中古購入、スピーカー、ヘッドフォン、マウス、キーボードなどアクセサリ完備
水道	月額40ソル固定(世帯当たりの料金設定)、支線引込み、メーター未設置。正午過ぎに給水止まる。水タンク設置による常時水道確保が一般的。飲用不可。要煮沸。	洗濯機	なし
トイレ	洋式だが、タンク未設置のため、ドラム缶に貯めた水を桶ですくって流す。寝室脇に新たにトイレを設置予定。	コンロ	ガスコンロ(オープン付き)、屋上に設置の薪コンロなども利用。
シャワー	水シャワー、給水停止後はドラム缶に溜めた水を使用。ただし冬場は寒いため、週2~3回程度コンロで湯を沸かし、浴びる。	ミキサー	ジュースやソース作りに必需
		アイロン	中古所有
		車両	なし



現在はドラム缶に水を溜め、トイレ、シャワーに使っている。

水タンク設置に向け準備中



居間から屋上に抜ける階段



夫婦ともに中古のプリペイド式携帯電話を使用。固定電話はない



待望のPCを知人から400ソルで購入。インターネット回線を近所とシェア。専ら子供が使う。



寝室は家族3人共用。手前に洋服ダンスと中古テレビがあり、当面の家族団らんのスペース。



1階に住む80歳の母親は玄関先で駄菓子屋を営んでいる。





アルベルトさん一家は、工事中の居間の片隅の丸テーブルで食事をする。息子は寝室や現在はパソコンルームとして使っている工事中の台所で食事をしたりと、家族が食卓を囲むことは特に優先されていない。

朝食は、近所のベーカリーで買った焼き立てパンにマーガリン、生チーズ、ジャムを添え、小分けインスタントコーヒーを飲む。ニコラスさんの昼食は現場近くの食堂で1食5〜7ソル。弁当は作らない。

夕食は鶏がらスープ(浮身はマカロニ)とメインディッシュ(ライス付きおかず)、おかずは大豆の塩茹のみの場合も。このほか、コリアンダー風味の鶏ピラフ、鶏肉のシチューなど。牛肉料理を作ることはまれ。このほか、チャーハンやしょうゆ焼きそばも定番メニュー。基本調味料は塩と醤油。胡椒や固形コンソメなどは基本的に使わない。

カモミール、ミントをはじめハーブティーを愛飲。ハーブは伝統市場で購入。伝統医療は民間に広く普及している。

調理は主にガスコンロを使用。ガスはボンベ式で電話で配達を注文すると新品と交換してくれる。特別な機会のバーベキューに薪を使うことも。ご飯は電気炊飯器(国産)で炊く。電動ミキサーはフルーツジュースやソース作りに欠かせない必須の調理器具。壊れた炊飯器を湯沸し用に転用している。

長男にせがまれ、前出のハイパーマーケットに隣接するショッピングモールに出店するファストフード(KFC、マクドナルドなど)を食べに行くこともあるが、両親とも好んで食べたいとは思わない。

年に数回、結婚記念日など特別な日に、妻の好物である魚介類レストランで3人で70ソル程度を支出することもある。



上: 朝食のパン、右上にインスタントコーヒーの小分けパックが見える。右: 夕食は鶏がらスープ(セロリ、ポロネギ、浮身はペンネ)とご飯に塩茹大豆、目玉焼き



左上: 冷蔵庫(国産)では牛乳、肉など傷むやすいもののみ保管。中上: オープン付きガスコンロ(国産)。右上: 主食のご飯は電気炊飯器(国産)で炊く。左下: 野菜・果物は外に保管。中央に国産醤油の小瓶が見える。ハーブティー用の各種乾燥ハーブも。電動ミキサー(国産)は台所の必需品。右下: スープは本格鶏がらだし。



### 露天市場

野菜・果実、肉、魚介類などの生鮮食料品、石鹸、シャンプー、歯磨き粉、洗剤などの日用雑貨は徒歩10分の伝統市場で必要最小限の量だけ買う。

パンや生チーズは近所のベーカリーで購入。コッペパン5個で1ソル。

バスで15分のコマス区最大の露天市場に週末(土曜日)に出かけ、中古の携帯電話や衣類・履物なども購入する。



### ハイパーマーケット

バスで10分のハイパーマーケット(メトロ、プラサベア)が5年前に開店後は、戸口まきチラシやテレビのスポット広告で確認して特価商品をまとめ買い。砂糖(1kg)2.5ソル(通常価格3ソル)、米(5kg)11ソル(同16ソル)、食用油(同1ソル)5.5ソル(同8ソル)。3パック(本)以上限定。10パック単位で買うことも。



### シネコン(ショッピングモール)

ハイパーマーケット2店に隣接してショッピングモールとシネマコンプレックスが整備されている。買い物ついでに映画やファストフードを楽しむ家族連れを多く見かける。

モールは最新流行発信のアンテナショップとして、シネコンとファストフードはセットで娯楽施設として機能。



# 時間

## 平日

	アルベルトさん 	妻 	子 
6:00	起床	起床	起床
7:00	朝食	朝食(息子の弁当用意)	湯浴(冬に週2回)・朝食
8:00	出勤	息子の学校付き添い	通学
9:00		湯浴(冬のみ、週2回)	
10:00		教会で門番のアルバイト	
11:00			
12:00			
13:00	同僚と昼食(外食)	教会で昼食	学校で弁当
14:00			
15:00			
16:00			下校
17:00		帰宅	宿題をする (夏は夜にほぼ毎日シャワー)
18:00	終業		
19:00	帰宅	夕食の準備	PCでYoutubeやゲーム
20:00	夕食	夕食	夕食
21:00	シャワー(冬でも水シャワー)	(夏は夜にほぼ毎日シャワー)	PCでYoutubeやゲーム
22:00	就寝	就寝	就寝

## 休日

8:00		起床	
9:00	起床	掃除・シャワー	起床
10:00	朝食	朝食	朝食
11:00	買い物付き添い	買い物	
12:00			シャワー
13:00		昼食の準備	
14:00	自宅で昼食	自宅で家族と昼食	自宅で昼食
15:00	自宅の改修作業		
16:00		近所の友人・親族訪問	近所で友達とサッカー
17:00			
18:00			宿題をやる
19:00		夕食の準備	
20:00	夕食	夕食	夕食
21:00	家族でTVを見る	家族でTVを見る	家族でTVを見る
22:00			
23:00	就寝	就寝	就寝

アルベルトさん一家が暮らすコマス区一帯はプエブロ・ホベン(若い町)と呼ばれ、1960年代初頭に山岳部などからリマ首都圏に移住してきた国内移民が国有地や私有地を不法占拠した後、国から土地所有権や居住権を勝ち取ってきた経緯がある。アルベルトさんの父もそうした不法占拠の先駆者の一人であった、年間を通じて降水量が極めて少ないペルー海岸地方に位置するリマの気候がムシロ1枚からの人生スタートを可能にしている。やがてベニヤ作りのあばら家となり、レンガ作りとなり、こうした過程と平行して、住民対策として行政が道路、上下水道、電気など徐々に市街が整備されていった。市街の形成はこのような混沌した経緯をたどっているものの、土地や住居の所有権が確立しており、首都圏で最も人口増加が激しい地域として経済活動も年々活発となっている。こうした背景から大型ハイパーマーケットチェーンが5年ほど前から進出し、売り上げも好調である。また、自らの手で住宅の増改築を行うことが盛んに行われ、建築資材購入費を調達するマイクロファイナンスが盛んである。こうした小口金融隆盛の背景には、住民が押しなべて地主であること、人口過密化に伴う域内経済の活性化が背景にある。

# JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。